

2014 年 5 月 8 日

No.2014-006

次世代省エネ型バルクキャリアー “CAPE MIDORI” 引渡し

ジャパン マリンユナイテッド株式会社（本社：東京都港区、社長：三島 慎次郎）は、5 月 8 日（木）、有明事業所（熊本県玉名郡長洲町）にて建造していた SCORPIO LINE SHIPPING S.A.（スコーピオ ライン シッピング エス エー）向け次世代省エネ型バルクキャリアー（G209BC）“CAPE MIDORI（ケープ ミドリ）”を引き渡しました。

本船は鉄鉱石/石炭の太平洋トレード用のケープサイズバルカーとしてヒット商品となった 205,000 DWT 型船の後続船型であり、載荷容量を増大させ、GHG25%削減を目標に開発された G シリーズの 209,000 DWT バルクキャリアーです。

本船最大の特徴は、低風圧居住区による風圧抵抗の削減や低摩擦塗料による摩擦抵抗の削減、および補機インバーター化及び LED 照明の採用による省電力化により、GHG 削減、燃費性能の向上を徹底的に追求しております。

【本船概要】

主要寸法：全長 299.99m x 幅 50.00 m x 深さ 25.00 m x 喫水 18.43 m

載貨重量：209,996 トン

総トン数：107,054

主機関：MAN-B&W 7S65ME-C8.2

航海速力：14.50 ノット

定員：28 名

船級：NK

船籍：パナマ